



第5回町民運動会 年代別リレーで大逆転 ～町民体育館で熱戦を展開～

四十八年度の第四回大会以降、二年連続で雨のため中止された町民運動会でしたが、今年は町民体育館内で第五回大会が盛大に催されました。

当日は天候にも恵まれ、出足も上々で約一千人の参加を得て、盛り上がりを見せました。

まず午前九時半に開会式が行われ、大会々長の岡野中央公民館長あいさつ、続いて来賓として五十嵐町長、高山議長より祝辞があり、前年度優勝の矢代田チームによる選手宣誓がありました。

ザル引きやビンつりレースなど、対抗と自由の二十三種目に熱戦が繰りひろげられましたが、なんと一時間も一番力の入るのが綱引きと年代別リレーで、応援の方も相当に熱が入りました。

中食休みを利用して子どもたちを中心としたレクリエーションが行われ、体育館いっぱい元気よく走りまわっていました。

一部の種目に変更がありましたが、順調に進行され、午後四時無事に終了しました。

大会開催にあたり、各方面より沢山のご寄附をいただきました。厚く御礼申し上げます。

成績は次のとおりです。

- ◎総合優勝 新保竜玄
- 第一位 矢代田
- 第二位 新保竜玄
- 第三位 矢代田
- 年代別リレー (男)
- 第一位 横水
- 第二位 新保竜玄
- 第三位 矢代田
- 年代別リレー (女)
- 第一位 横水
- 第二位 新保竜玄
- 第三位 町部下



第二回キタ - 定期演奏会

日時 = 10月31日 (日) PM 1.30~

会場 = 中央公民館大ホール

演奏曲 = 月光ほか 20数曲

入場料 = 無料

主催 = 小須戸ギタートクラブ

公民館報

小須戸町公民館 知日 15円
発行人 野良 15円
発行日 毎月 15日
印刷所 昭栄堂印刷所

岡田教育長が 勇退されました



二期八カ年にわたって町教育行政を司ってこられた教育長岡田寅男氏が九月三十日付で勇退されました。

氏は多年にわたる教育者としての経験をいかし、学校教育、社会教育両面から次へと実現し、幾多の業績を残されたのであります。

後任は未決定で、当分の間佐藤係長が職務代行いたします。

長寿大学案内

- 十月後半
- 一六日 (土) 陶芸ク
- 一九日 (火) 午前九・三〇より巻町中央長寿大学 (約七〇名)との交流会を公民館講堂で催します。
- 出席長大連審委員 同日午後一時三十分より全体学習 (時局講演)

月のささやき

風が寒くないですか？ 今日一日赤トンボと遊んでいましたね。夕陽に映えてとてもきれいだ。人達は今でもあなたのなかに残りを語うけど、昔のわたしにも多くの夢が託されたのよ……。今ももう誰も……。でも昔あずかっていた分の夢だけは、大いにしたいと思えます。

(白)

分館活動の 活発化が急務

第二七回新潟県公民館大会が、去る九月二十四日、柏崎市で開催されました。

本年度本県ではじめて開催される全国公民館大会をふまえて、「公民館のコミニティ(地域社会)づくり」に果す役割として、都市部、農村、農山漁村の三分科会に別れて活発な議論が展開しました。

御寄附御礼

新潟市の加藤さんより金五万円のご寄附をいただきました。

公民館報の編集その他運営費の補助にもご協力いただき、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

加藤さんは町出身で、多年新潟市市会議員(現職)として活躍され、長寿大学全体学習の講師としてお迎えすることになりました。

須藤家資料が発見された

◎当町の神社の文庫は、誠に少ない。諏訪社、住吉社文庫で虫食いだっけであるが貴重であるから記す。

誓約証

第廿大区小志区、郷社小

は出さなかつたのですが、共通するところは、公立民営といった性格の分館活動を展開するために、地域の自主性とリーダーの確保が如何に重要かという点で一致しています。

当町からは館長以下三名の方が参加し、それぞれの立場で意見の交換をいたしました。

本年は新しい試みとして一口限りの日程であったため、余りにも時間的余裕がなく何か物足りない感がありました。

土俗信仰 優婆さま

柏 大治

当町には昔から優婆さまの信仰があります。子供の頃から意地地お婆さまのように思っている方も、研究してみるとなかなか、有難いものがあります。

三途河原のほとりに住む、死者の渡り舟を運ぶ、そのための懸衣(ケイイウバ)といわれています。本町の優婆さまには、これを御供えして二派あるようです。横川浜の吉田さんのお祭りは、北浦原御神村次郎丸の優婆さまです。旧名、横高徳寺さん支配の羽黒の優婆さまです。旧名、横高徳寺さんのお祭りに、先般吉田さんの好意により、種々教示を頂き、先般高徳寺管理の優婆さまは、現在五十カ所位、四十カ所位に優婆さまがいます。羽黒寺では優婆さまの命日を毎月十九・二十日としてお祭

須戸町諏訪神社、同町住吉神社秋祭典の儀ニ付氏子協議如左之

第一条

一、従前同社、神輿市中御巡行住吉社御旅所設置御形行イタン来り廻三番町以下之義近來衰頽ニ及御祭日ト雖モ角家(虫)申立候付、更ニ同社御旅所ノ末、五番町御旅所ノ末、五番町御旅所(如)五番町ニ不敬虫虫前虫虫之礼ヲ失ヒル節後一年ニ改、従前通、同社御旅所御注 虫ニ改止可致事

- 三番町惣代 井上庄次郎印
- 四番町惣代 佐藤 茂吉印
- 五番町惣代 坂爪 庄吉印
- 坂井 準蔵印
- 横一 政吉印
- 森田辰次郎印
- 友坂四郎吉印
- 右戸長 吉沢 源蔵
- 田巻三郎右衛門
- 五十嵐三郎
- 高橋 正治
- 以上

りをしては、横川浜の吉田さんでは毎月十三日を命日とし十一月に大祭が行われ、その日は約百人位の信者が賑わうようです。加持祈禱については別で御嶽山の関係らしいとのこと、(このことはいづれ)優婆尊像は本地地蔵菩薩如来(大日如来)で聖武天皇天平勝年行基菩薩がたまに「出湯村に御遺留の際、山鳴天地震動一丈八尺余の恐しき老婆現われ、我が像を造り、衆生の救うために現生、来生の仏縁を結縁する者であるとのお告げで行基菩薩、有難さのあまり尊像を彫刻されたことになっています。優婆尊のことは古書に色々散見していますが、優婆尊とは、女性でなく在家の人で五戒をもった人です、すなわち不殺生戒、不偷盜戒、不邪淫戒、不妄語戒、不飲酒戒のことです。上代の出家(僧)も優婆尊を尊敬しています。男子を優婆尊、女子を優婆尊といいますが、専門的に調べると、日本人ではなく中国人のようです。

